

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-〇〇〇〇
施設名	墨田区亀沢保育園
施設所在地	墨田区亀沢1-27-5
法人名	社会福祉法人清心福祉会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

地域の資源を活かそう  
(木育)

<テーマの設定理由>

日々の生活から、公園に行く際には自然現象に目を向け子どもたちが拾ったものをすぐに持ち帰るのではなく、保育園での遊びに取り入れる。遊びに取り入れることで、じっくり拾ったものを観察できる。枝の太さや素材の違い、どんぐり・葉の形の違いなど発見し探究活動に繋がっていく。10月には木のワークショップを行い、1階テラスに木のぬくもりを感じられる環境を整える。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月

令和7年10月1日 木のワークショップ

令和8年1月 1階テラスに木の家を建てる

2階テラスに木のアトリエを建てる

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・広いホールに「かんなくずプール」「マキンバ(木琴のようなもの)」や木の端材を置くことにより、児たちが自由に触れて遊べる環境を整えた。

・ペン、絵具、ボンド、両面テープなどは児たちが自由に使えるように準備。

・グルーガン・ダボ・電動ドライバーも物を接着する方法、すぐに形になる方法の一つとして準備。そしてどう接着してほしいかを伝え保育士に接着をするようにした。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

沢山の木材を用意し、自分で好きな色を塗ったりくっつけたりして制作を楽しんだ。制作が苦手な児は木を積み重ねたり、やすりがけをしたりして木のぬくもりや香りを楽しんでいた。部屋中に木の香りに包まれ、作るだけでなくかんにくずに埋もれたり太鼓を叩いて音を感じたり気を積み重ねて遊んだ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

木材同士をどのようにしたらくっつけられるか、考えながら楽しむ姿が見られた。「グルーガンはくっつくのが早いけど意外とすぐ壊れるね」「ボンドは乾くのに時間かかるけど丈夫だよ」と会話を楽しみながら作っていた。他児と協力し合いながら一つのものを作り上げている児たちの姿もあった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

木育を取り入れたことで、素材に応じてどのようにすればくっつけることができるのか自然と児たちで考えるようになったことに驚いた。また、継続的に木に触れることで感触や香りなども楽しむ児の姿も見られ、保育士にとってよい学びになり、散歩へ出かけた時に子ども達も自然と自然物に興味を持つようになり、良い機会となった。継続をすることで、児同士で教え合ったり発見することが遊びの中から吸収できていることが嬉しかった。